

2020年10月号 No.363



表紙 「きつねづかでおいかげっこ」

さかまき めい [慈光幼稚園]

東京教区教化委員会報 ネットワークナイン

発行日 2020年10月1日

編集 教化委員会広報・出版部門

『ネットワークナイン』班 編集員

総編集長：本田 彰一（東京1）

チーフ：朝倉 俊隆（東京5）

佐々木誠信（東京4）五島 大地（東京8）中村 晃（茨城1）大山 信敬（茨城2）

チーフ：田上 翼（茨城1）

坂東 性悦（東京2）平松 正宣（東京3）櫻田 純（東京6）秦 顕生（湘南）

チーフ：鶴川 卓史（湘南）

内藤 友樹（東京1）渡邊 尚康（東京3）田宮 真人（東京8）相馬 法道（茨城1）

発行 真宗大谷派東京教区教化委員会

〒177-0032 練馬区谷原1-3-7東本願寺真宗会館

TEL. 03-5393-0810 FAX. 03-5393-0814 Email. nw9@ji-n.net

ご意見、ご感想は上記連絡先までお願いします。

もくじ

特集

- 03 真宗雅楽会

- 10 法語ボスター

教区教化通信 総合調整総務会

- 11 教区報恩講 企画会だより

教区教化通信 「同和」協議会

高口 喜美子

- 12 新旧会長挨拶

岩嵜 徹

教区教化通信 児童教化連盟

- 13 おつとめ動画を一緒に作ろう

本田 彰一

教区教化通信 大谷保育協会

- 14 子育ての大地

根本 智江

はい！こちら真宗会館です

- 16 駐在日記

佐々木 弘明

はい！こちら真宗会館です

- 17 所員のつぶやき

小笠原 慧

はい！こちら真宗会館です

- 18 所員退任挨拶

小林 尚樹

- 19 敬弔・涌

櫻田 純



今号では雅楽についての特集をお届けしたいと思います。

雅楽とは、三つの管楽器（笙・簫・龍笛）、三つの打楽器（鞨鼓・琵琶・琴）からなる管絃と、舞楽・歌謡で構成されたものです。日本古来の音楽や舞と、五世紀頃以降に大陸諸国から伝わった音楽や舞が融合し、十世紀頃におおまかな形態が成立したと伝えられています。

今回取材させていただいたのは、東京教区を中心に活動されている「真宗雅楽会」の皆さんです。今までに真宗会館での報恩講等で演奏されるのを見聞きされたことがある方も多いことだと思います。本特集を通して、雅楽の世界のほんの一端でも、皆さんにお伝えできれば幸いです。



▲(左から) 鉦鼓・太鼓・鞨鼓



►笙



▲龍笛



簫



▲雅樂会会長の中村昌之さん

東京2組報恩寺において毎月行われている練習会にお伺いし、インタビューさせていただきました。インタビューに応じていただいたのは東京教区真宗雅樂会会長の中村昌之さん（東京1組 本昌寺）と楽長の本多恵昭さん（開教者会 聞信寺）です。

A. 主な活動内容としては、教区報恩講での演奏です。また一般寺院の報恩講や落慶法要記念法要などの際、併せて稚児行列を行ふ場合、依頼があれば演奏を行っています。一般寺院の報恩講では笙・簫篥・龍笛の三管で、落慶法要や記念法要では三管に鞨鼓・太鼓・鉦鼓の三種類の打楽器を加えた6人編成で演奏します。一般の方を対象として、真宗雅樂会単独でコンサートを行うことはありません。また仏前結婚式での演奏について、雅樂会の会員個人で呼ばれて演奏に行くことはあっても、雅樂会として演奏は行なつません。落慶法要や記念法要の際に雅樂会として演奏依頼を受ける場合は、会長の中村さんが雅樂会の窓口となり、担当・配役を決めて演奏を行なっています。



Q 1

A. 新規に入会、または退会や休会する方がいて人数は変動していますが、現在の会員は14名で活動しています。当初は別院であつた東京本願寺（浅草）に所属していましたが、別院が大谷派から離脱した際、ともに離脱した寺院の方々は辞めてしまいました。報恩寺で練習を始めてから、50年近くになります。楽器の担当について、笙は3人、簫篥が4人、龍笛が4人となります。常時参加する方は10人前後になります。他の打楽器は会長の中村さんが兼任しています。本来の雅樂では、先に挙げた楽器の他に絃楽器である琴・琵琶、歌や舞がありますが、法要時の演奏では披露しません。全ての楽器と歌や舞を修得して、一人前になるには80年かかると言われています。



Q 2



▲楽長の本多恵昭さん



▲練習会場になっている報恩寺

A.
名古屋にある実家のお寺には、門徒さんが主体となる雅楽会があり、毎年の報恩講で雅楽が入っていました。そのため、小さい頃から雅楽が入るのは当たり前だと思っていました。中学一年生の頃に次男ということもあり、名古屋の雅楽会の方に「雅楽をやつてはどうか」と言われて個人レッスンを受けるようになり、中部雅楽連盟に参加しました。その後上京し、宮内庁の職員有志が作った「十二音会」という雅楽会にも入会しました。現在は真宗雅楽会の他に十音会、小野雅楽会など複数の雅楽会に所属しております。全国各地で定期公演を行っています。また、個人として雅鳳会という楽団を主催しており、後進の育成のために小中学校で雅楽を教える特別授業なども行なっています。



A.
箒篥の音が地上にいる人の声のイメージ、龍笛の音が天にいる龍の鳴き声のイメージ、笙の音が地上や天を含めた空間全体のイメージを表しているとされています。雅楽の楽曲には、春夏秋冬の季節を表したものや、日本をはじめアジアや中近東の史実や民話を基にしたもの、かつての王朝由来のものも多くあります。その中でも仏教由来の楽曲も数多くあります。その中でも仏教由来の楽曲は「迦陵頻」、「菩薩破」などの数曲が残るのみです。





▲練習の様子



A.

○笙の場合

金属製のリードがある程度暖めておかないと振動せず音が出なくなり、唾液などの水分が付くと錆びてしまうため、使用する前や演奏の合間に火鉢で温めて水分を飛ばしておかないといけません。物珍しいからなのか、火鉢で笙を温めていると、よくその理由を聞かれます。また、振動に弱いので持ち運びは必ず手で持つて行わないといけません。

○鞨鼓の場合

定期的に打つていないと、革が乾燥して固くなってしまいます。保管の際はシルク布などを掛けて、ある程度の湿気を保たせる必要があります。取り扱いの注意としては、持ち運びの際、打面や彩色のある胴体に直接触れなことです。また、龍笛や簫簾も保管の際にある程度の湿気が必要です。



▶鞨鼓を打つ様子



▶火盆(左下)を側に置きながら笙を吹く



▼雅楽の楽譜▶

A.
 「鞨鼓」の立場として、管絃曲の大部分の場合は、洋楽の「指揮者」の役目も兼任するので、鞨鼓の奏者の所作や打ち方・速さによって、曲の始まりや終わりや進み方が指示されたりコントロールされたりします。

例えば、曲の始まりは、鞨鼓が撥を構えた太鼓・鉦鼓が撥を構え、鉦鼓の撥を構え終わるのを見て、笛の音頭（パートリーダー）が曲の頭を吹き始めます。また、曲によつて拍子（リズムパターン）が違うので、雅楽に精通したベテランが担当し、その拍子の雰囲気を各奏者に伝える役目もあります。

雅楽には本来「譜面」がありませんでした。
 また、西洋音楽の音律と若干のずれがありますので、雅楽の基本練習として、各管楽器の「唱歌」と言われる歌を師匠から習つて、雅



Q6
 雅楽は指揮者がいませんが
 音や呼吸を合わせる為の
 留意点を教えて下さい

樂の音律とメロディーを何年もかけて習得します。また、自分の持ち管だけでなく、打樂器や絃楽器も同時に習つて総合的に曲の進行を把握します。また雅楽の樂器にはそれぞれに色々な約束事があり、特に笙の手移（小節の間で和音を切り替える独特の間合い）があることによつて、雅楽独自のリズムが創り出されます。



A.

1711年宗祖親鸞聖人四五〇回御遠忌の記録には雅楽を用いた記録があり、法要に取り入れた源流はここにあると思われます。法要儀式が整えられたのが1561年宗祖親鸞聖人三〇〇回御遠忌の時とされ、その後分派などがあり、先の1711年の記録にあ



▲報恩寺の本堂にて

るよう雅楽と大谷派の関わりはその当時からあったように思われます。分派の際の記録にも雅楽の記載があります。法要との関わりは定かではありませんが、証如上人・蓮如上人の時代には能のうを通じて雅楽との関わりがあるようです。

現在、大谷派は本山で行われる一週間の報恩講や春の法要において、大阪・名古屋・金沢の3つの団体が輪番制によつて樂僧がくそうとして出仕しゆっししております。メンバーには一般の方もおりますので、その方は得度を受けた上で本山の法要に出るための樂僧試験を受けることが出仕の条件としてあります。

大谷派の法要楽は着座などの所作に合わせて奏かなるものと、声明の旋律に合わせて奏かなする「附物つけもの」があります。声明の発声に合わせて雅楽が音を奏で、双方の音声が響きあうことで淨土の世界を表現する音楽として重要な役割を担つています。



A.

近代になって、雅楽は民俗芸能という立ち位置になり、一段低く見られるようになつてしましました。それは伝統に重きを置かなくなつてきただということです。今、1200年以上続いた雅楽は風前の灯であります。そのことは特に後継者がいないという点において顕著であります。現代では生まれたときから洋楽に囲まれていて、その洋楽が我々の音楽に対する認識・姿勢の基準となつてしまつています。その視点を破つていかないと雅楽というものを受け取ることは難しいのではないかと思います。雅楽には、日本人が培つてきた伝統があり、洋楽はないアイデンティティがあります。是非生の演奏を聞いて下さい。

浄土の莊厳を奏でる

会員募集中!!

真宗雅楽会では、雅楽演奏に興味のある方、これから雅楽を始めてみたいと思っている方に親切丁寧にお教えしています。
ぜひ下記事務局までお問い合わせください。

[活動内容]
毎月の合同練習
年1回の合宿
教区報恩講楽僧出仕
その他

真宗雅楽会



[真宗雅楽会 事務局]

〒124-0013 東京都葛飾区東立石3-9-8 本昌寺内
TEL:03-3697-5098 真宗雅楽会会長 中村昌之

【取材後記】

今回は真宗雅楽会の皆様の練習を取材させていただきました。教区報恩講では馴染みのある雅楽ですが、その歴史や樂僧さんのことまでは知らなかつた、知らうとしてこなかつたという方が私たちを含めて多いのではないかと思います。

お話を伺う中でも、時代の移り変わりで日本人が昔から培つてきた伝統が軽んじられているという悲しみの声があつたことが印象深く残っています。インターネットが発達して誰でもどこでも世界中の音楽に触れる事ができるようになつた反面、消えかけている音楽があることを知りました。

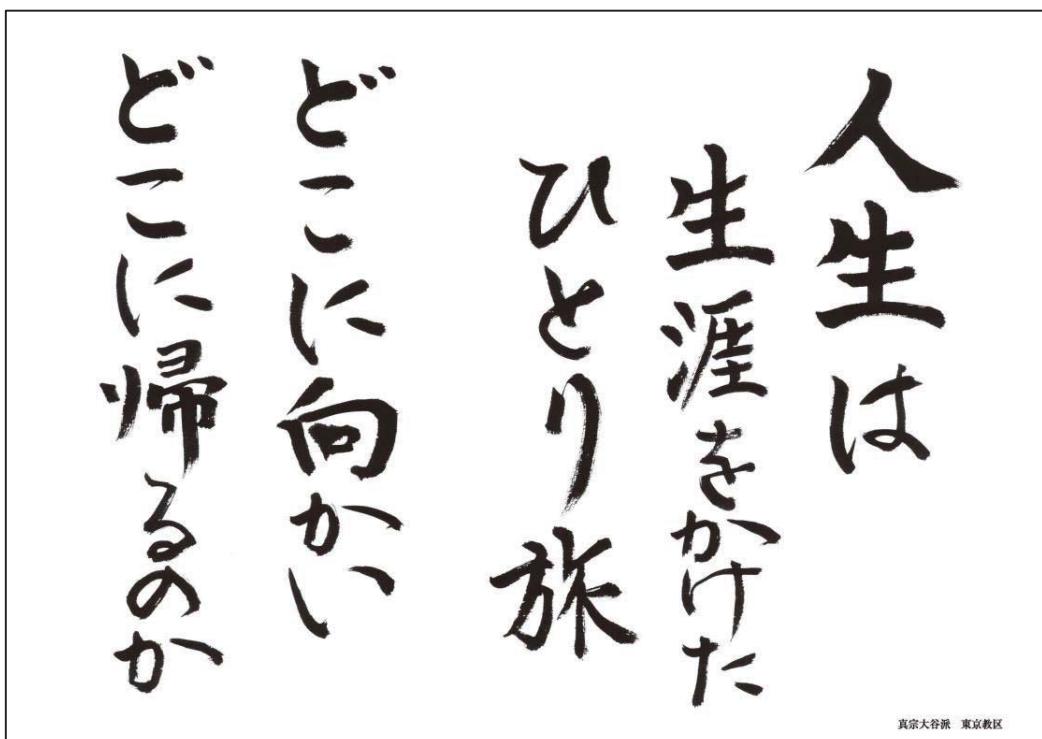
取材中、山門の前を横切る人が少し歩く速度を緩めて耳を傾けられる、そんな光景がありました。聞ここうと思えば聞ける場はあるのに、聞ここうとすら思わなくなってしまった。変わってしまったのは私たちではないかと問われているようありました。

雅楽会の皆様には、貴重な練習時間のところ取材にご協力いただき、大変感謝申し上げます。ありがとうございました。

(取材・田上班
取材後記・秦顯生)



今月の法語



書：佐藤 多仙

- ・頒布中「掲示伝道用ポスター」(A2 サイズ)
「掲示伝道ポスターミニ」(ポストカードサイズ)
- ・「掲示伝道用ポスター」が貼れる門徒宅用掲示板を無償設置いたします。
詳細は東京教務所まで。

教区報恩講企画会だより

教区報恩講企画会

2021教区報恩講 テーマ「南無阿弥陀仏 人と生まれたことの意味をたずねていこう」

サブテーマ 「今、であります」

2020年の教区報恩講では「人にであります」をサブテーマに「親鸞聖人のご法事である報恩講に、縁によつて一人ひとりが集い、人とであります」ことを通して、なによりも自分自身とのであります、帰依三宝の世界から、すべての人に願われていることを互いに確認し、お勧めいたしました。

例年であれば、この「企画会だより」が掲載される『ネットワーク9』10月号に同封して教区報恩講のチラシ・ポスターを皆様にお届けしておりましたが、新型コロナウイルス感染拡大の状況に鑑み、従来の日程を変更した勤め方となる可能性を考え、教区報恩講のお知らせを遅らせていただきました。

今後の状況を考慮し、企画会の中で従来に近い形で、どのように教区報恩講を勤修できるか模索しています。

日々に変化を続けていく状況に鑑みながら検討し、詳細が決定次第、皆様にお知らせさせていただきたいと考えています。何卒、ご理解賜りますようお願い申し上げます。

それからわずか数ヶ月の間に、世界は大きな変化の時を迎えるました。新型コロナウイルスとの出遭いによって、実際に人と会うことや、人が集うことが困難となり、さらには不安をもたらしています。そのような状況の中で、教区報恩講企画会（以下、企画会）で検討を重ね、「今、であります」を2021年のサブテーマといたしました。

現在、企画会の会議はリモートで行い、直接対面していた従来の会議との違いに戸惑いながらも報恩講の企画の検討を続けています。



「同和」協議会新旧会長挨拶

新会長 高口 喜美子

はじめまして。このたび、「同和」協議会会長に就任いたしました埼玉組得信寺の高口喜美子でございます。委員として活動はしておりますが、先人の後についていくのに精一杯でございました。至らぬ身でございますが、大任をお引き受けいたしましたからには全力で努力をしていきたいと思っております。

「是旃陀羅」問題等、様々な課題を抱えておりますが、委員の方々と協力し、意見をいただきながら運営して参りたいと思います。まず、はじめに9月の第1回部落問題基礎講座におきましては、解放運動推進本部の中山量純氏より、「講義をいただき、「是旃陀羅」問題の基礎を一から学び直していくことで、今まで学んだ事の確認や新しい発見などを見いだす機会となりました。

今後も一步ずつ歩んで参りたいと思っておりますので、皆様には一層のご協力を賜りまますようお願い致します。

前会長 岩寄 徹

武内了温師以来、教団内の部落解放の意思は若干の人々によって受け継がれて來たが、教団保持の教学と体制によって理想が打ち砕かれ現在に至っている。私たちもまたその洗礼を受けざるを得なかつたのだろう。

大谷派は今まで数多くの部落解放同盟による糾弾を経験し、しかもその度に回答書を出し、「差別を克服する教学の構築」を解放同盟に約束している。古くは難波別院差別事件の時もそのような回答書が出されている。とこ

ろがつい最近の「是旃陀羅」問題についても、広島県連に「差別を克服する教学の構築」を約束しているのである。解りやすく言えば、糾弾のたびにその約束をしていることになる。これでは解放同盟が呆れる以前に、教団内の私自身も呆れ果ててしまう。

というよりも、何故何度も約束しておきながら、再三にわたつて差別事件を起こすのか、しかも差別事件を起こす当事者は不思議にも教學畠を歩いた者が多いのだ。この様な現象から割り出される結論は簡単である。つまり教学自身が差別的であるからである。差別的教學から解放の教學を導き出すことは、阿弥陀仏ならずとも親鸞をもつとしても不可能だ。そして差別的教學を学べば誰でもが、何度も差別事件を起こすことになる。実に当たり前の現象が起こっているに過ぎないのだ。

結論として、「差別を克服する教学の構築」を行ふためには、藤元正樹先生などの高名な先生方の言動を完全にアウフへーベンして、親鸞自身の教學を零から学び直さなくてはならないと考えている。

おつとめ動画をみんなで一緒に作ろう

児童教化連盟委員長 東京1組 本明寺 本田 彰一

子ども報恩講の開催について

今年の「子ども報恩講」は12月27日を予定していますが、現在の新型コロナウィルス感染症の状況から例年のように集まって開催することは困難と判断し、オンラインで開催することを決めました。ご不便をおかけしてしまいますがご理解・ご協力ください。

おつとめについて

—おつとめ動画リレーに参加しませんか?—

各家庭の通信状況が違うのでオンラインで声を合わせておつとめするとどうしても声がずれてしまいます。そこで今年の子ども報恩講に限り、「おつとめ動画」を作つて動画に合わせておつとめしようと思います。今回の案内では「おつとめ動画」に協力していた方に、お勧めしていくだけです。おつとめ動画を作つておつとめしようと思いません。申し込んでいた方に、お勤めしていただく部分をお知らせします。そうしましたら、おつとめしている様子を撮影して児連へ送つてください。集ま

った動画をこちらで編集して1本の「おつとめ動画」に仕上げます。

自信がなくともできるように参考となる動画も準備するので大丈夫!

みんなといっしょに「おつとめ動画」を作りあげませんか?

参加要綱

勤行次第：正信偈（草四句目下）

念仏・和讃

（同朋奉賛・弥陀成仏のこのかたは）

回向（願以此功德）

対象：どなたでもご参加いただけます

装束：得度したみなさんは直綴・墨袈裟または間衣・輪袈裟

得度をしていないみなさんは平服

お申込み：右下のQRコードを読み込んで申込フォームからお申し込みください。

お申込みいただいた方には追って詳細をお知らせいたします。

また、左下のQRコードの「撮影時参考動画」も併せてご覧ください。

動画参加申込締切：10月31日（土曜日）

撮影時参考動画

申込フォーム



お問合せ：東京教区児童教化連盟

庶務 三浦 雅彦

東京都新宿区若葉2-1-3 真英寺内

tokyojiren@gmail.com



東京教区
児童教化連盟
委員長 本田彰一

※今回のご案内は「オンライン子ども報恩講おつとめ動画」の参加者募集です。オンライン子ども報恩講の詳細は11月ごろにご案内予定です。



『ともに育ち合う』

聖徳保育園は、茨城県北東部に位置する高萩市にあります。太平洋に面した自然豊かなまちで気候的にも過ごしやすい地域にあります。近年は、歴史的景観や自然を生かしたまちづくりが進んでいます。

最近、世間では新型コロナウイルス関連のニュースばかりで暗い気持ちや不安が募る日々ですが、保育の現場では、笑ったり、怒ったり泣いたりと元気いっぱい表情豊かな子ども達で賑やかな毎日を送っています。



ある年長児のR君の話をします。以前は、自分の思い通りにならないと物に当たったり、友達に手を出してしまう事が多くありました。いつしかその様な姿も落ち着き、最近では周りの状況にも目を向けクラスの中心的存在へと変わってきたのです。その様な姿が見受けられたのは、小さいクラスの友達との関わりからでした。外遊びの際は、自ら進んで小さい子に靴を履かせたり、手をつないで歩いたり等、優しい表情で言葉を掛け、側につきつき。小さいクラスの子ども達も嬉しそう。また、R君も満足気な表情を浮かべていて、私達も嬉しくなった場面でした。R君の姿からはあえて親切にしてあげようという意識はあるで感じられないですし、損得を考えての行動も見られません。ただ単に、友達の為に、「やってあげたい！」というR君の一心な思いの現れとしか見えませんでした。

日々、子ども達と生活を共にする中で、私達大人が学ぶ事や気付かされる事が多々あります。これからも、子ども達のありのままの姿から自分自身を見つめ、真実のもと「つよく、あかるく、なかよく」ともに育ち合う存在でいたいです。

社会福祉法人 聖徳福祉会

聖徳保育園
(茨城県高萩市)

主任 根本 智江



教区の情報をあなたに あなたの声を教区に!!

一緒にネットワーク9を作りませんか?
編集員募集中!!



東京教区教化委員会報 ネットワークナイン

取材、原稿執筆、校正、デザインなど、紙面作りに関するすべてを行います。
お寺の新聞やチラシを作る時のスキルも学べるかもしれません。パソコン初心者の方でも大歓迎です。先輩編集員が丁寧にご指導します。一緒に楽しいネットワーク9を作っていきましょう。

興味がある方、お問合せは東京教務所（担当：佐々木）まで

ネットワーク9へのご意見・ご感想をお寄せください
〒177-0032 東京都練馬区谷原1-3-7 東本願寺真宗会館内 東京教務所
【電話】(03)5393-0810 【ファックス】(03)5393-0814
【mail】nw9@ji-n.net



スマホやパソコンでぜひアクセスを! 東京教区のホームページ



www.ji-n.net

検索 暮らしにじいーん

お寺をもっと身近に

多彩なコンテンツ

じいーん散歩 (New)

しんらんさまめぐり

法話／行事・講座

なるほど仏事作法

寺院検索

他

うちのお寺も載ってる!



スタッフ募集

パソコン技術は不要です

ホームページ班のメンバーは僧侶に限らず、月に約1回のペースで集い、アイデアを出し合ったり、時には現地取材もしています。
ぜひ一緒に活動しませんか? (お問合せは教務所/不動まで)

はい！こちら真宗会館です

駐在日記



駐在からひとこと

最近読んだ本：『この世に「宗教」は存在しない』（ベスト新書）

写真：真宗会館探訪！「屋上」

東京教区駐在教導

佐々木 弘明

「今年の夏風邪」

7月の末に風邪をひいた。ちょうど東京都における新型コロナウイルスの感染者数が、再び増加してきた時だった。

「まさか新型コロナウイルスに感染したのか」という不安が湧きおこってきた。自分の症状をあらためて確かめてみる。喉が痛い、そして咳が出る。熱は平熱だ。急いで新型コロナウイルス感染症の症状をインターネットで調べてみる。そこには、「発熱やのどの痛み、咳が長引くこと（1週間前後）が多く、強いだるさ（倦怠感）を訴える方が多い」との表記。

半分当てはまっている。もし新型コロナウイルスに感染していたら、周りの人につてしまいかねないと思い、いつもお世話になっている病院へ行っていいのだろうかと迷った。迷ったあげく家族とも相談し、発熱の症状がなかったので、病院へ行くことにした（本当にその判断は良かった

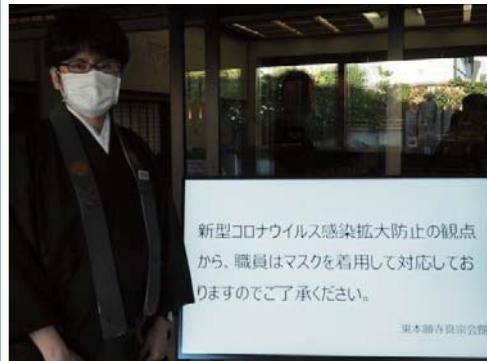
のだろうかと今でも考えている）。

病院に行き、医師に自分の症状を伝えると、「風邪でしょう」と。その言葉を聞いて、正直ほっとしたのだが、医療従事者の方々は、メディアでも伝えられているとおり、日々感染の不安と隣り合わせで仕事をされている。感染のリスクを伴って働くかれている様々な業種の方々へ対し、世界中で「心から敬意と感謝を表す」という内容のメッセージが発信されている。

また、「ソーシャルディスタンス」という言葉も定着してきているが、感染拡大を防ぐため、人と人との間に物理的な距離を取ることによって密接な接触を行う機会を減らすことは、自分以外の他者へ感染させたくない、人を思いやることもある。

コロナ禍の中、不安を抱えているからこそ、私自身の中で周りの人に思いを馳せる時間が増えている気がする。

はい！こちら真宗会館です



首都圏教化推進本部

法務員

小笠原 憲

一押しの今季ドラマ：アンサング・シンデレラ
(病院薬剤師の姿が会館法務員と重なりました)

気づいたら「一年の半分」も、新型コロナウイルス（以下、コロナ）と一緒に過ごしています（8月現在）。自分自身、今年30歳という節目の年であります。年齢での実感を抑えて、このコロナによって生活、行動、言動、意識の変化を余儀なくされました。マスク着用を強制される生活、大勢で集まらないという行動、相手の許容度を推し量っての言動、そのすべてを意識せざるを得ない日々に、ある意味、全世界、老若男女問わず影響を受けている「非常に稀有な経験」をしていると言っても過言ではないかと思います。私事で言えば、秋に予定をしていた結婚式を来年の春に延期しました。昨年の12月に「少し先だけど、早めに打ち合わせを始めよう！」と、余裕をもって進めたものがストップしました。

そして衣装屋さんが倒産するという想定外の事に…汗

「流れては止まり」の繰り返しに皆さんも不安とストレスが溜まっておられるのではないでしょうか。

しかしながらこの期間だったからこそ、「始められた」ものがあります。私事で言えば自炊と読書です。これまでの生活では中々始められなかったものをコロナによって後押しされるが如く始められました。皆様も何かありますか？

「妥協じゃないです！方向転換です！」

何年も前の深夜バラエティ番組、MCをやり始めたアイドルの言葉が今更ながらに思い返されます。妥協するのも方向転換するのもこちら次第、「何か始めるいいきっかけ」ですね。

人事異動



退職

小林
尚樹

向き合い、寺を開いてゆくうとする活動は、その全てが宗務役員のときに考えていたことの実践に他なりません。

私は、東京教区駐在教導を11年、研修部推進員室主任を3年、東京宗務出張所出仕を3

こそ違つてはいても、変わらない気持ちを持ち続けてきました。それは、「願いをかたちにする」ということでした。私は、それが宗務役員の役目だと思つて仕事をしてまいりました。

「願いをかたちにする」、私の中では、これが最優先です。その為には、内部のルールや手続き、予算というものは後回しにして進んで行きますので、時に、内部でぶつかり合うこともあります。ちょいちょいありました。

それは、私にまず与えられたお役目が、宗務の花形、教区駐在教導であつたということによると思つています。特に、教区駐在教導が「教区の願いをかたちにする」ということは最優先です。内部の事情は二の次です。今

携わらせていただいたお仕事の一つひとつに語り尽くせないほどの思い出があり、多くの方との出会いがありました。ここに、改め

て感謝申し上げます。

なお、引き続き、非常勤ではありますが、首都圏教化推進本部本部員として宗務に関わらせていただきますので、今後とも、よろしくお願い申しあげます。



訳びと訂正

『ネットワーク9』No.362（2020年9月発行）に誤りがありましたので、お詫びして訂正いたします。

- # お詫びと訂正

『ネットワーク9』No.362
9月発行)に誤りがありま
びして訂正いたします。

(誤) 東京教区駐在教導の氏名の文字重

(正) 渡邊 誉 なり

8月 敬弔

田宮 京子 様

長野 4組 玉蓮寺 前坊守

8月 2日 命終 96歳

吉川 昌秀 様

山梨組 受得寺 住職

8月 14日 命終 77歳

花園 雅子 様

東京 1組 圓照寺 前坊守

8月 15日 命終 93歳

生前のご功労を偲び、
念仏合掌して哀悼の意を表します。

涌

ゆう

編集員の随筆



「コロナ禍による生活様式の変化」 「withコロナ」等々、今年に入つてから今日まで耳にタコが出来るほどこの言葉を耳にしてきました。寺に於いても例外にあらず、法務の変化や対応を余儀なくされる状況が続いています。例えば法事の減少、参加者の人数減、一日葬の増加等々明らかに一年前とは状況が変わってしまっています。ただこれは、元々どうにかなるだらうと目を背けていた問題が、「コロナ」によってより鮮明に浮き彫りになつてきたというところが本当のことのように思ひます。緊急事態宣言下、今も思ひうのが生まれて初めてと言つても良いぐらい、人がいらない、来ない寺というものを経験しました。それでもいつ来られても良いように境内を掃除して、本堂を片付けてただひたすらに待つ日々でした。

そんな中、今はようやく世間が動きだし、なんとか元に戻りつつあるように思ひますが、

先日、お参りに来られた門徒さんと少しお話ををする機会があり、その中で「今まで当たり前のようにできていたことが本当は有難かつたんですね」という内容になりました。限られている時間をじつと待つか、新しい可能性を導くのか、正直答えは分からぬところではあります。が、「こんなときだからこそ」を引き続き探したいと思ひます。

(東京 6組 光圓寺 櫻田 純)